

緑の相談所だより

{ 4. 5月号 ~1992.3.31 ~ 発行・編集 旭川市緑の相談所 }

講習会

冬越しした鉢花の健康診断と植え替え

- ▶日 時→ 4月12日(日)
午後1~3時
- ▶講 師→旭川市緑の相談所相談員
村田 正一
- ▶内 容→洋ラン、アザレヤ、ポインセチア、その他鉢花の健康診断と植え替え。
※お手持の鉢をお持ち下さい。

春から夏の 洋ラン管理

- ▶日 時→ 5月10日(日)
午後1~3時
- ▶講 師→旭川洋らん会幹事
笠原 幸三
- ▶内 容→カトレア、デンドロビウム、
ファレノシプス、シンビジウム
その他

参加料=無料◆定員=60名
お申し込み・お問い合わせ=

旭川市緑の相談所
(神楽岡公園)

☎65-5553

日に日に日差しが強くなりはじめましたね。春は種まき、植え替えの季節です。種の植え方がわからない?水の量はどれぐらいあげたらいいの?などなどご相談にお答えします。直接来られても、電話でも受けています。休館日は月曜日(祝祭日は次の日)、時間は午前9:00~午後5:00です。

庭木類の健康診断と植え替え

- ▶日 時→ 4月26日(日)
午後1~3時
- ▶講 師→旭川市緑の相談所相談員
小島 博昭
- ▶内 容→◇成育期に入る前の手入れ。
(病気、肥料やり、剪定など)
◇植え替えの必要性。
◇植え替え(実技)。
◇目的にあった剪定方法。

自然界のあれこれ (自然のおもしろさ)

- ▶日 時→ 5月24日(日)
午後1~3時
- ▶講 師→元林野庁北海道林木育種場長
小田 潔
- ▶内 容→スライドで高山植物なども説明。

季節の花ことば



パンジー (旧名) 三色すみれ わたしを想って下さい
 白い花のつぼみがキュービットの放った愛の矢に射られ、
 三色に変わってしまってきたのがパンジーだといわれています。
 また“わたしを想ってください”という花ことばは、
 三色の花の様子が物思いに沈んでいる少女の顔に似ていると
 ころからきています。(花とファンタジーの雑記)

プチシュガー

自分で角砂糖の上に絵をかいてみませんか！チュ
 リップやバラやブドウやパイナップルとなんでもか
 けます。紅茶やコーヒーの時やお友達のちょっとしたプレゼントなど字もかけます
 ので、もらった人は大感激！

材料・角砂糖=適量・卵白=1個・粉砂糖=200g・着色料=自分の好みで

しゅりあん

・酒石酸=ひとつまみ(薬局にあります)・絞り器(シュガー専門)

作り方



絞り器に入れ、自分
 の好きな形を角砂糖
 の上にかく。



③

ボールの中に卵
 白と粉砂糖と酒
 石酸を入れ、つ
 のが立つまで泡
 立てる。(ゆる
 めの時は粉砂糖
 を入れる。)

①

例 チューリップ



④

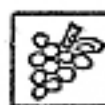
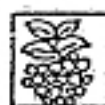


その中に
 着色料を
 入れる。



②

お菓子用のビニール袋に入
 てもすてき！



温室NOW

今、温室ではバナナの実がついています。熟するまであと6か月くら
 いかかります。今回はバナナのことにはスポット！

世界の果樹生産量の第1位がブドウ、2位がカンキツ類そして第3位がバナナだそう
 です。1年中見かけることの出来るバナナはおもに炭水化物ですが、栄養価が高く
 消化もいいそうです。テレビでマラソンランナーが口にするのを見
 たことがあることでしょう。ビタミン類はなんと11種類もあり、
 その中でもビタミンA、B₁、B₂、C、が重要です。

温室のバナナは三尺バナナという種類ですが、実がなった親株
 は枯れるので横に出た子株を育てます。



「早春前線」—— 旭川市緑の相談所相談員 村田 正一

日平均気温が5度以上になると、冬眠していた植物たちは眠りから覚めて活動を始めます。この時を「早春前線」といって植物の生長活動の目安としています。

旭川に早春前線が訪れるのは年によっていくらか早い遅いがありますが、4月中旬過ぎころです。

早春前線が通り過ぎると、庭ではフクジュソウ、クロッカスなどの花が待っていたように咲きだします。4月下旬ころ神楽岡公園ではコブシが白い花を咲かせ、カツラの芽吹きが紫桃色で覆われたように美しく見えます。地面はエゾエンゴサクの青い花、キクザキイチゲ、アズマイチゲなどの白い花で覆われます。散策がてらぜひ早春前線の訪れを鑑賞してください。

4月5月は気温が不安定

4月5月は暖かい日があるかと思うと急に冷えこんだりします。5月中旬ころまでは霜の恐れがありますから、外に出した鉢物などは夕方の気温に注意して下がるようであれば玄関にでも取り込んでおきましょう。

シンビジウム、来年も咲かせるために——

株元から新芽が伸び出していると思います。この新芽を今から秋までの間にしっかりと太らせなければ花芽が出来ませんから、つぎのようにしてください。

- ①新芽は1鉢で3本だけを残し、あとはなるべく早めに欠き取ります。
- ②肥料はつぎのように与えて太らせます。
 - ・1000倍の水肥を週に1回ずつ8月まで続けます。
 - ・4月から油粕と骨粉を固めた親指の先大の玉肥を5～6個置き肥します。1か月ごとに新しい玉肥と取り替え7月まで続けます。
- ③室内ではガラス越しの日光に当て、6月に入ったら外に出して日光に当てます。
- ④外に出してからは毎朝たっぷり水やりしてください。

アザレヤ、花後の手入れ

花が終わると枝先に新芽が何本も伸びてきますが2本だけ残して後は欠き取ります。

肥料を与えて5月に外へ出すと、夏に新枝の先にもう1度花が咲きます。

来年も良く咲かせたい時はなるべく4月中に植え替えをします。その時は2本残した新芽の葉を2～3枚残して先を切り詰めます。同時に根の土を3分の1～半分落とし、一回り大きな鉢にカヌマ土にピートモスを3分の1くらい混ぜた土で植え替えます。2週間たってから水肥を与え、3週間後から置き肥もします。夏の間は外の半日陰で育てます。

シクラメン、花後の手入れ

黄色くなった葉、咲き終わった花茎を元から取り除きます。鉢はやや乾き気味にしながら薄い水肥を与え、霜がなくなったら外に出し、雨のあたらない日陰に置きます。

チューリップ

5月にはにぎやかに咲きそろいますが、花や葉にまだら模様が入った株が見つかったらそれはウイルス病に侵されています。直ることはありませんし、他の株にも移りますからすぐ引き抜いて焼き捨ててください。

球根を太らせるには雪解け後と開花時期に粒の化成肥料を地面にばらばらとまいておきましょう。さらに花が散ったらすぐに実は折り取って養分を取られないようにします。

4月に入ると日中の気温の上昇が目立ち始める時期です。

このような時期は外に出て庭を整理する機会が多くなります。その機会を利用して庭木類の生育状態の観察と把握は、その年の生育を左右することになりますので的確に判断し処理することが大切です。

庭の手入れ

◎冬囲いの取りはずし

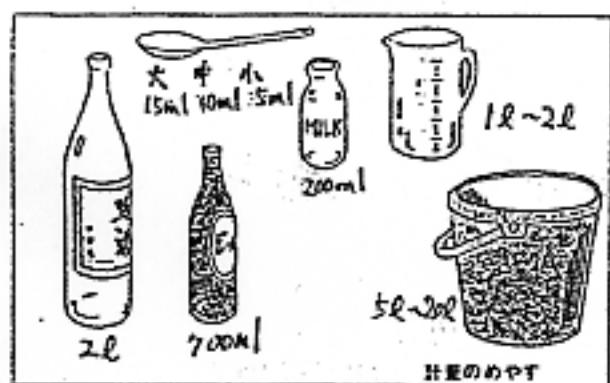
庭木類の冬囲いは出来るだけ早い機会に取りはずすことが大切で日中の気温が10℃をこえる日が連続して出てくるような場合には急いで取りはずします。

◎庭の清掃

冬囲いの取りはずしと同時に落ち葉、枝などを整理し焼却します。

◎整枝

枯れ枝、折れた枝などは切り取り、雪圧で裂けた枝などはビニールテープなどで固定し再生をはかることが大切です。



◎薬剤による防除

冬囲い取りはずし後、石灰硫黄合剤を散布します。濃度は20~30倍程度。

◎雪どけ後の施肥

雪がとけたらすぐ肥料をあたえます。果樹類、花木類（ツツジ類、シャクナゲ）などは特に多くあたえます。肥料は骨粉、油粕、木灰などの有機質肥料を混合して使います。

◎肥料のあたえ方

原則的には枝のはっている範囲が根の範囲と考え、その範囲にまきます。施肥量の目安としては1㎡当り200g程度。

◎植え替え

4月、5月の早春におこないます。

果樹類の植え込みもこの時期におこなうのが良いようです。

◎根切り

支根が張りすぎて花つきの悪くなったものや、樹形のみだれてきたものについては剪定時に根切りをおこないます。

